

## FAQ集(SafeSF2000Bio)

2006/8/28

番号	キーワード	内容	回答	備考
a-1	保守サービス	[ご購入前] 保守の内容はなんですか？	保守ご契約内容は、以下の通りです。 サービス内容 ・FAX又はE-Mailによるトラブル対応を行います。 ・受付は、土/日/祝祭日/年末年始/富士通SSLの定める休業日を除く平日9:00～17:00。 ・時間外の受付については、翌営業日以降の対応となります。 ・修正モジュール/アップデートモジュール(レベルアップ版)をCD媒体にてご提供します。 ・お電話でのサポートは実施しておりません。	
a-2	評価版 デモ版 トライアル版	[ご購入前] 試しに使ってみたいのですが。	申し訳ございませんが、評価版はございません。	
a-3	動作環境	[ご購入前] NECのPC98シリーズ製品(WondowsNT4.0)で動作するでしょうか？	NECのPC98シリーズ製品について導入事例はありませんが、SafeSF2000Bioの動作OSであれば動作するものとしています。 SafeSF2000Bioのバージョンアップによって、WindowsNT4.0がサポートOSから外れた場合も、サポート対象外とするのではなく、必要に応じて動作検証などをおこなうことはできるものとしています。	
a-4	動作環境	[ご購入前] モバイルでVPN等で使用する際の注意点を教えてください。	SF2000はサーバ照合方式のため、サーバとの通信が必須です。 Windowsネットワークログオンにて認証を行う際は、ログオンの前にサーバとの接続が確立されている必要があります。 SF2000サーバと通信が確立されている状態であれば、認証用のポート(デフォルト2000番、変更可能)を1つ開けていただければ認証可能です。	
a-5	動作環境	[ご購入前] 管理ツールはインストールフリーですか？	インストールフリーです。	
a-6	動作環境	[ご購入前] 基本バックMSDE版の通常版と管理者権限拡張機能付きとの差は何ですか？	SafeSF2000 Bioでは管理権限として3階層になっております。 代表管理者(2名) 管理者 ユーザー ここで、管理者は代表管理者のみが登録・削除・更新を行うことができますが、同じ管理グループに所属する管理者同士でも登録・削除・更新を行わせる権限を追加したものが、管理者権限拡張機能です。 例えば、拠点内の管理者の管理は拠点に任せたいときなどに利用します。 #「SF2000 Bio 管理階層.ppt」もご参照ください。	関連資料:SF2000 Bio 管理階層.ppt
a-7	動作環境	[ご購入前] 富士通製ノートPC内臓の指紋認証装置と連携できますか。	できます。 富士通のノートPC内臓の指紋認証装置にも2タイプあり、センサー部分が広がっているタッチ式センサーと、センサー部分が小さく認証時に指をスライドさせるスライド式センサーがあります。 基本的に両者は認証時のユーザー操作が異なりますので、同システム内での混在は認められておりません。 (例えば、タッチ式センサーで登録、スライド式センサーで認証など) システム内での認証装置は統一していただく必要があります。 これは外付け型のセンサー(FS-230U、FS-300U)でも同様です。	
a-8	動作環境	[ご購入前] Windowsログオン連携を使用した場合、既存アプリケーションのSSO機能に影響を与えることはありますか。	既存アプリケーションの仕組みにより影響範囲が異なってきますので、一概にはどちらとも言えません。 しかし、おそらく(SSO機能ではWindowsのGinaモジュールを変更していることが多いと思います。 SafeSF2000 BioのWindowsネットワークログオンでもGinaを独自のモジュールと入れ替えます。 ここで、パッチングが生じる可能性がありますので、必ず事前の動作確認・検証が必要です。	
a-9	動作環境	[ご購入前] V3にはノート連携オプションがありませんが、ノート連携したいのですが。	V3からはNotes連携用のAPIを公開しておりませんので、サポート対象外となります。	
a-10	動作環境 サーバスペック	[ご購入前] ユーザー数1000名程度の場合、SafeSF2000Bioサーバのサイズングはどの程度になりますか。	[サーバのスペック] PRIMERGY TX200相当(2CPU)のサーバ1台(コールドスタンバイ構成時2台) CPU:3.0GHz(2CPUを推奨) メモリ:1GB以上 HDD:2GB以上の空き Windowsのログイン時のバイオ認証なので、出勤前の10分間に最大1,000名の利用があると想定します。 よって、1000照合/10分が実行できるスペックとして上記とさせていただきます。 障害時の対応としてコールドスタンバイ(1台を運用サーバ、待機サーバとして利用)構成を行うことができます。 また、ノンストップの運用が求められる場合は他のサーバ構成でご提案することも可能ですので、その際は再度ご連絡ください。	
b-1	仕様 認証速度	[共通] 各種認証精度はどの程度ですか？	各メーカーの公表数値は以下の通りです。 富士通:他人受率率:0.0002%、本人受率率:99.96% SecuGen:他人許容率:0.001%以下、本人拒否率:0.1%以下 DDS:他人受率率:0.001%以下、本人拒否率:0.1%以下 NEC:他人許容率:0.0002%、本人拒否率:0.05%	
b-2	仕様 照合速度	[共通] 照合速度はどの程度ですか？	照合速度は同時照合数とCPUに依存します。 Xeon2.0GHz(1CPU)、35人同時照合で5秒以内のレスポンスです。	

番号	キーワード	内容	回答	備考
b-3	仕様	[共通] 現在、鳥類の声についてソナグラム・周波数分析等を行っています。 そこで、音声識別ソフトのエンジン部分を応用して約300サンプルの泣き声を数十種類の個体に分類することに適用が可能か判断できないでしょうか。	SafeSF2000Bioは、指紋・顔・声紋・サインのバイOMETRICSによる本人認証システムです。 鳥の声を登録すること自体は可能かと思いますが、本システムは認証システムのため、声を分析して分類するという機能はございません。 また、本システムは人間の声による識別を行うために作られており、鳥の声の特徴を識別することには特化していません。 お客様が想定されているようなご利用方法は、実現できかねます。 ご要望に沿えず申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。  [技術的な面からの不可能な理由] 1点目：人間の声紋認証を行うものであり、鳥の声紋については認証を行えない。また、鳥に声紋があるかどうか不明できない。 2点目：SF2000Bioは声紋認証であり、音声におけるソナグラム・周波数分析はできない。 3点目：SF2000Bioは、特定発話(登録言葉が決まっている)での認証に対して、鳥の鳴声が特定発話でないので、認識できない。	
b-4	仕様 ドメイン	[共通] Windowsドメインでも利用可能ですか。	利用可能です。	
b-5	仕様 ドメイン	[共通] Windowsドメインでも利用可能な場合、動作は下記のイメージとなりますでしょうか。 <1> Windowsドメインのユーザと、認証データをSF2000 Bioの管理ツールで紐付ける。 <2> clientでバイオ認証が実行されると、認証データと紐付いたドメインユーザでドメインログオン	大まか流れとしてはご提示いただいた内容で結構です。 詳細としては、SF2000 Bioの方にWindowsドメインユーザとパスワード情報を登録します。この登録データをWindowsドメインに反映し、同期を図ることとなります。(本ツールの提供可能) クライアント側でのWindowsログオン時にバイオ認証に成功した際、認証サーバに登録されているそのユーザのドメインユーザIDとパスワードを取得し、それをWindows認証に渡す仕組みになっております。	
b-6	仕様 ドメイン	[共通] 連携するドメインユーザの情報はBio認証サーバのDBと定期的に同期する必要があるかと思いますが、1ユーザずつドメインユーザID/パスワードを手動で設定するしかありませんか？ 例えば、定期的に取り込むバッチを流す、LDAPで取り込む、ADとの連携モジュールなどが存在するなどありませんか。	前項でも紹介した同期を行うツールを用いれば、一括処理を行うことができます。 このツールをタスクスケジューラでスケジューリングすることで定期的に同期を行うことができます。 登録しているドメインユーザID / パスワードの変更もファイルで一括して変更できます。	
b-7	仕様 グループ	[共通] Bio認証でログインできるPCを、グループ毎に制限可能でしょうか。	Bio認証ユーザとPCの紐付けを直接SafeSF2000Bioで行うことはできません。 Windowsログオン時には、Bio認証に成功した場合に認証サーバに登録されているユーザID/パスワードをWindows認証に渡す仕組みになっています。 PCに対してログインできるかできないかの制御はWindowsの機能で制御する必要があります。 ドメインを管理したいグループ毎に作成し、各PC毎にログインできるドメインユーザ(グループ)を設定していただければと思います。	